

令和2年度における未来都市創造に関する特別委員会の運営について（案）

1. 委員会の目的

三宮周辺・ウォーターフロント地区における都心の再生や市街地西部地域などの活性化の原動力となる神戸独自の魅力をいかに創出するか、またその基盤となる潤いある都市空間の整備や新たな交通手段を含む総合交通体系の整備など、人口減少社会も見据えた新たな時代の神戸のまちづくりに関する必要な事項について調査する。

2. 令和2年度の運営方針

本委員会が本年6月に市長に対して行った提言「2050年を見据えた神戸のまちづくり」での指摘を踏まえ、新型コロナウイルスがもたらす「ニューノーマル（新常态）」に対応したまちづくりに向けて、様々な課題を調査する。

- (1) 新型コロナウイルス危機において、いわゆる「三密」を回避することが必要とされる中、満員電車や都心のオフィスなど「都市の過密」という課題が改めて顕在化し、新型コロナウイルスと共存するニューノーマルに対応した働き方や住まい方への変革が求められている。変革を進める上では、気候変動に配慮し低炭素型の持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた努力も求められる。同時に今回の感染症拡大に伴い人の移動に制約があった中で、テレワークやオンライン授業など、リモートサービスの活用・定着が進み始めている。そのような中、三宮再整備やこれに関連する事業のコンセプトも従来通りでよいかどうか掘り下げて考える必要がある。

こうした状況を踏まえ、今後の神戸全体のまちづくりのあり方にどのような変化が起こるのか、感染症に強いまちづくりはどうあるべきかなどについて、幅広い観点から検討するため、テーマを決めて集中的に調査・議論する。調査テーマは理事会において議論する。

[調査テーマ例] 都市空間、都市交通、新しい生活様式、気候変動、感染症学、先端技術開発ほか

- (2) 委員会は、参考人からの意見聴取及び委員間討議を中心に行う。実地調査の実施については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ慎重に判断する。
- (3) 委員会での調査活動を踏まえ提言を行う。

(スケジュール)

令和2年9月～3年2月頃	参考人からの意見聴取・意見交換及び委員間討議
令和3年3月～4月頃	提言書案に関する委員間討議など
令和3年5月頃	提言書提出
令和3年5～6月頃	市民報告会

3. 基本的な運営方法

- (1) 常任委員会との役割分担にも留意しながら、調査・議論を深めることとする。
- (2) 必要に応じて都心三宮再整備の進捗状況についての報告を求める。
- (3) 必要に応じて所管局の局部課長の出席を求める。なお、調査テーマによっては、関係する外郭団体に派遣している現職局部課長の出席を求める。
- (4) 定席表は、理事と委員を分けずに大会派順とする。
- (5) 委員でない議員が委員会で発言しようとするときは、委員会開会までに、別紙「委員外議員発言申出書」により委員長に申し出る。発言の許否は、委員長が委員会に諮って決定する。発言が許された場合の委員外議員の発言は、委員の発言が全部終了した後に行い、委員間討議においても同様とする。
- (6) 他の委員会と関連する事項については、当該委員会と密接に連絡を取る。

令和 年 月 日

委員外議員発言申出書

委員会
委員長 様

市会議員 印

月 日の 委員会に出席して、下記事項について発言いたしたいので、許可されるよう、会議規則第52条第2項の規定により申し出ます。

記

発言内容

1 平成 26 年度の活動状況

「神戸の魅力」「都心の魅力」「若者の集う街」「産業振興」という 4 つのテーマを設定し、参考人からの意見聴取や委員間討議を行うとともに、交通事業者（JR 西日本・阪急電鉄）からの説明聴取や、渋谷駅中心地区再開発についての説明聴取及び実地視察を行った。これらの調査活動を踏まえ、全 18 項目からなる「神戸の未来都市創造に向けた提言書」をまとめ、市長に提出するとともに、市民報告会を開催した。

< 審査実績 >

- ・ 26 年 7 月 10 日: 「神戸の魅力」について意見聴取と委員間討議
(参考人: 神戸芸術工科大学学長 齊木崇人氏)
- ・ 26 年 8 月 7 日: 将来ビジョン・再整備基本構想について報告聴取
- ・ 26 年 9 月 4 日: 「都心の魅力」について意見聴取と委員間討議
(参考人: 神戸フィルムオフィス代表 田中まこ氏)
- ・ 26 年 11 月 6 日: 「若者の集う街」について意見聴取と委員間討議
(参考人: 神戸電子専門学校校長 福岡壯治氏)
- ・ 26 年 12 月 8 日: 「産業振興」について意見聴取と委員間討議
(参考人: 神戸ファッションコンテスト審査委員長 齋藤統氏)
- ・ 27 年 1 月 27 日及び 2 月 9 日: 提言書に関する委員間討議

< 実地調査 >

- ・ 26 年 7 月 18 日: 西日本旅客鉄道(株) (駅ビル建替計画等)
- ・ 26 年 7 月 23 日: 阪急電鉄(株) (駅ビル建替計画, 市営地下鉄との相互乗入れ等)
- ・ 26 年 9 月 8~9 日: (株)日本設計(三宮周辺の再整備), 渋谷区等(渋谷駅中心地区再開発)

< 提言書 >

27 年 3 月 24 日に「神戸の未来都市創造に向けた提言書」を市長に提出

< 市民報告会 >

27 年 5 月 11 日に本会議場で市民報告会を開催 (市民 190 名が参加)

内容: 第 1 部 委員会活動報告 (「神戸の未来都市創造に向けた提言書」の内容等)
第 2 部 パネルディスカッション (委員会が招致した参考人 4 名による)

2 平成 27 年度の活動状況

神戸の都心の未来の姿 [将来ビジョン]・三宮周辺地区の「再整備基本構想」の策定に関し報告聴取を行うとともに、都心三宮推進本部会議及び各部会における議論の方向性や進捗について審査を行った。さらに、市街地西部地域について、集中的な審査を行った。行政調査では、首都圏における再開発事業を中心に、官民にわたって調査するとともに、空間デザインに関する講演を聴取した。

< 審査実績 >

- ・ 27 年 6 月 29 日: 将来ビジョン (案)・再整備基本構想 (案) 等について報告聴取
- ・ 27 年 8 月 24 日: 将来ビジョン (案)・再整備基本構想 (案) に対する意見募集結果について報告聴取
- ・ 27 年 9 月 10 日: 将来ビジョン・再整備基本構想合同報告会の開催について報告聴取
- ・ 27 年 12 月 22 日: 都心の再整備に向けた取り組み及び市街地西部地域の活性化について報告聴取
- ・ 28 年 5 月 30 日: 都心三宮推進本部, 部会の状況等について報告聴取

<行政調査>

28年2月1～3日

- ・JTQ Inc. 谷川じゅんじ氏（空間デザインについて）
- ・東日本旅客鉄道(株)（丸の内駅前広場の整備について）
- ・森ビル(株)（森ビルの街づくりの考え方について）
- ・川崎市（武蔵小杉駅周辺のまちづくりについて）
- ・渋谷区・東急電鉄(株)（渋谷駅周辺の再開発について）

3 平成28年度の活動状況

これまでの委員会活動を踏まえたうえで、今後の神戸のまちづくりの方向性について、多角的な観点から理解を深めるため、参考人からの意見聴取及び委員間討議を行った。また、都心再生の取組状況について、関係局などから報告を聴取するとともに、公共交通や駅周辺整備に関する、民間企業や他都市における先進事例の調査を行った。

<審査実績>

- ・28年8月8日：都心・三宮の再整備，部会の状況等について報告聴取
- ・28年10月24日：「若者に選ばれるまち」について意見聴取と委員間協議
（参考人：(株)デジタル・ラボ 代表取締役 永吉一郎氏）
- ・28年11月15日：①「まちづくりの光を考える－『光の都』神戸の実現に向けて」について意見聴取と委員間協議
（参考人：(株)ライティングM代表取締役 森秀人氏）
②都心・三宮の再整備に関するアクションプラン，「えき～まち空間」基本計画作成業務委託プロポーザルについて報告聴取
- ・28年11月22日：「三宮中心市街地の再整備～未来への提言～」について意見聴取と委員間討議
（参考人：兵庫県土地家屋調査士会神戸支部長 樋口敦仁氏他）
- ・28年12月20日：「人口減少時代のまちづくり」について意見聴取と委員間討議
（参考人：奈良女子大学生活環境学部教授 中山徹氏）
- ・29年1月26日：①「未来に向けたスポーツ都市戦略」について意見聴取と委員間討議
（参考人：早稲田大学スポーツ科学学術院教授 原田宗彦氏）
②神戸三宮「えき～まち空間」基本計画について報告聴取
- ・29年6月5日：部会の状況等，078 開催実績，都心・三宮の再整備に関するロゴマーク投票について報告聴取

<行政調査>

29年1月30～31日

- ・西日本鉄道(株)（天神高速バスターミナル，博多バスターミナルについて）
- ・広島市（広島駅周辺整備について）

4 平成29年度の活動状況

都心・三宮周辺地区の再整備において、特に多様な立場の視点に立ったまちづくりを基本コンセプトとして、集中的に審議し、参考人からの意見聴取や委員間討議、都心三宮推進本部からの報告聴取などを行った。また数十年後に必要となるインフラ等について、障がいの有無にかかわらず、すべての人々にとって移動しやすい多様な立場の視点に立ったまちづくりについて見識を深めるため、官民それぞれの先進事例について調査を行った。

<審査実績>

- ・29年11月21日：「人と環境にやさしいまちづくり」について意見聴取と委員間討議
(参考人：徳島大学大学院教授 山中英生 氏)
- ・29年12月18日：「えき～まち空間」基本計画(案)，新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた雲井通5・6丁目再整備基本計画(案)について報告聴取
- ・30年4月27日：「医療と福祉の一体化」について意見聴取と委員間討議
(参考人：理化学研究所生命機能科学研究センター網膜再生医療研究開発プロジェクト プロジェクトリーダー 高橋政代 氏)
- ・30年6月5日：新たな中・長距離バスターミナル整備の進捗状況，「えき～まち空間」実現に向けた交通の考え方について報告聴取

<行政調査>

30年2月1日～2月2日

- ・日産自動車(株)総合研究所 (将来のモビリティ社会について)
- ・東京都 (都市づくりのランドデザイン及び東京2020大会に向けたバリアフリー化の推進について)

5 平成30年度の活動状況

三宮再整備事業の進捗に伴い，新たな課題が浮かび上がってきたことから，あらためて議会の立場から提言を行うことを目指し，都心・三宮周辺地区を中心に調査・議論を行った。関係局からの報告聴取に加え，参考人からの意見聴取や委員間討議，他都市の先進事例の現地調査等を行い，これらの活動を踏まえて，全19項目の提言書「未来都市神戸の創造に向けて」を取りまとめ，市長に提出した。

<審査実績>

- ・30年10月29日：①「大都市ターミナル駅周辺のまちづくり」について意見聴取と委員間討議
(参考人：大阪市立大学大学院工学研究科教授 嘉名光市氏)
②都心・三宮再整備の進捗状況について報告聴取
- ・30年11月22日：①「エリアマネジメントによる街づくり」について意見聴取と委員間討議
(参考人：三菱地所(株)開発推進部エリアマネジメント推進室長兼NPO法人大丸有エリアマネジメント協会事務局長藤井宏章氏)
②提言についての委員間討議
- ・30年12月26日：提言についての委員間討議
- ・31年1月21日：提言書案について委員間討議

<行政調査>

30年12月17～18日

- ・文京区 (文京シビックホールについて)
- ・柏の葉アーバンデザインセンター (アーバンデザインセンターについて)
- ・大丸有エリアマネジメント協会 (エリアマネジメントについて)

<提言書>

31年3月19日に提言書「未来都市神戸の創造に向けて」を市長に提出

6 令和元年度の活動状況

三宮再整備事業の事業期間が概ね30年間で、段階的にまちの再整備を進めていく事業であることから、30年後である2050年の神戸が生き生きとした魅力あふれるまちであるためにはどんな視点が必要なのか、様々な観点から調査・議論を行った。関係局からの報告聴取に加え、参考人からの意見聴取や委員間討議、他都市の先進事例の現地調査等を行い、これらの活動を踏まえて、提言書「2050年を見据えた神戸のまちづくり」をとりまとめ、市長に提出した。

<審査実績>

- ・元年8月22日：「神戸市役所本庁舎2号館再整備基本計画（案）」及び「三宮クロススクエア」交通社会実験について報告聴取
- ・元年10月25日：「フューチャー・デザイン：持続可能な自然と社会を将来世代に引き継ぐために」について意見聴取と委員間討議
（参考人：総合地球環境学研究所特任教授 西條辰義氏）
- ・元年11月18日：「新モビリティ社会と交通まちづくり」について意見聴取と委員間討議
（参考人：一般財団法人計量計画研究所理事 牧村和彦氏）
- ・元年12月13日：「Society5.0に向けたICTの活用による地域課題の解決」について意見聴取と委員間討議
（参考人：西日本電信電話株式会社ビジネス営業本部クラウドソリューション部ビジネスイノベーション営業推進担当部長 井口法文氏、同社兵庫支店長 川副和宏氏）
- ・2年2月17日：①都心・三宮再整備の進捗状況について報告聴取
②提言についての委員間討議
- ・2年3月17日：提言についての委員間討議
- ・2年6月11日：提言についての委員間討議

<行政調査>

2年1月30～31日

- ・名古屋大学（新たなモビリティソースと移動手段の多様化について）
- ・川崎市（駅前のまちづくりとミュージアム川崎シンフォニーホールの運営）

<提言書>

2年6月17日に提言書「2050年を見据えた神戸のまちづくり」を市長に提出